



## 平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月13日

上場会社名 株式会社TSIホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 3608 URL <http://www.tsi-holdings.com>  
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)三宅正彦  
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部副本部長 (氏名)大石正昭 (TEL)03(5213)5511  
 四半期報告書提出予定日 平成24年7月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年2月期第1四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年5月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	47,529	—	1,449	—	893	—	△3	—
24年2月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年2月期第1四半期 △2,991百万円(—%) 24年2月期第1四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	△0 03	— —
24年2月期第1四半期	— —	— —

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第1四半期	187,984	114,277	58.8
24年2月期	190,804	119,255	60.7

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 110,618百万円 24年2月期 115,900百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	—	—	17 50	17 50
25年2月期	—	—	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	17 50	17 50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	94,000	80.6	△1,700	—	△1,300	—	△2,700	—	△23 32
通期	197,000	33.3	△500	—	0	—	△1,600	—	△13 82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年2月期1Q	115,783,293株	24年2月期	115,783,293株
25年2月期1Q	3,229株	24年2月期	2,905株
25年2月期1Q	115,780,161株	24年2月期1Q	106,881,978株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は、平成23年6月1日に、(株)東京スタイルと(株)サンエー・インターナショナルの共同株式移転の方法による共同持株会社として設立されたため、前年同四半期実績等は記載していません。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社は平成23年6月1日に、(株)東京スタイルと(株)サンエー・インターナショナルの共同株式移転の方法による共同持株会社として設立されました。そのため、前年同四半期との対比は行っておりません。

当第1四半期連結累計期間（平成24年3月1日～平成24年5月31日）における我が国経済は、東日本大震災の復興関連需要などによる国内需要の改善や設備投資の持ち直しの動きをはじめ、輸出の底入れを背景として緩やかな回復基調が見られたものの、欧州金融不安の再燃や円高の長期化、電力不足への懸念などから景気は先行き不透明な状況で推移しました。

アパレル業界においては、個人消費の持ち直しなどの動きも見られるものの、長引く消費低迷から脱しきれておらず、他方では消費者の価値観の多様化がさらに進行している状況にあります。

こうしたなかで当社グループは、本年4月にグループ全体の中期経営計画を策定し、「聖域なき構造改革」を断行すべく、事業拠点の整理統合や不採算店舗の撤退などに着手しました。また、傘下の東京スタイルグループ及びサンエー・インターナショナルグループの管理部門統合に着手するなど、持株会社の機能強化と経営統合によるシナジー効果の創出を図るために、前連結会計年度に引き続いて営業活動においてもグループ各社間による積極的な連携を推進しました。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は475億29百万円となりました。損益面では営業利益は14億49百万円となり、また、経常利益は8億93百万円となりました。

また、固定資産売却益などにより3億61百万円の特別利益を計上し、一方、投資有価証券評価損などによる7億25百万円の特別損失及び法人税等として3億1百万円を計上したこと等により、当社グループの四半期純損益は3百万円の損失となりました。

セグメント別の売上の概況は次の通りです。

#### (東京スタイルグループ)

ブランド別事業部制への組織変更に伴い、大阪、福岡、札幌の3支店を閉鎖するなど、事業構造の改革を行なうとともに、採算管理手法を抜本的に見直し、不採算のブランドや店舗をスクラップすることで販売効率と経費構造の改善を行ないました。また、M&Aにより子会社化したグループ各社との連携を強化し、シナジー効果を発揮することで業容を拡大するとともに、中国市場において「ナネット レポー」の販売を開始するなど、事業基盤の拡充に向けた諸施策に取り組んでまいりました。その結果、東京スタイルグループの売上高は205億28百万円となりました。

#### (サンエー・インターナショナルグループ)

東京ソラマチ、渋谷ヒカリエ、ダイバーシティ東京プラザ及び三井アウトレットパーク木更津といった集客力のある新規商業施設に積極的に出店を図る一方、アウトレット事業を展開していた子会社(株)ラストコールを(株)サンエー・インターナショナルが吸収合併することにより、グループにおけるアウトレット事業の再編と強化を図りました。また、サンエー・インターナショナルグループの基幹ブランドである「ナチュラルビューティーベーシック」において、前連結会計年度に引き続いてテレビCMによる積極的な広告宣伝活動を展開しました。その結果、サンエー・インターナショナルグループの売上高は270億27百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間末 (平成24年5月31日)	増減
総資産	190,804	187,984	△2,819
負債	71,548	73,707	2,159
純資産	119,255	114,277	△4,978
自己資本比率	60.7%	58.8%	△1.9%
1株当たり純資産	1,001.04円	955.41円	△45.63円

総資産は、受取手形及び売掛金の増加（前期末比24億5百万円増）、たな卸資産の増加（前期末比42億58百万円増）、繰延税金資産の増加等による流動資産「その他」の増加（前期末比9億73百万円増）、有形固定資産の増加（前期末比12億60百万円増）等があったものの、現金及び預金の減少（前期末比29億87百万円減）、有価証券の減少（前期末比9億70百万円減）、投資有価証券の減少（前期末比75億30百万円減）等により、28億19百万円の減少となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の増加（前期末比13億22百万円増）、短期借入金の増加（前期末比9億86百万円増）等により、21億59百万円の増加となりました。

純資産は、利益剰余金の減少（前期末比20億29百万円減）、その他有価証券評価差額金の減少（前期末比34億7百万円減）等により、49億78百万円の減少となりました。

以上の結果、1株当たり純資産は45.63円の減少となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年4月13日に発表しました平成25年2月期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成24年7月13日）発表の「通期業績予想の修正のお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

### (4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,101	29,113
受取手形及び売掛金	14,207	16,613
有価証券	1,999	1,028
商品及び製品	19,991	24,668
仕掛品	929	515
原材料及び貯蔵品	262	257
その他	5,344	6,317
貸倒引当金	△672	△586
流動資産合計	74,164	77,928
固定資産		
有形固定資産	21,165	22,426
無形固定資産		
のれん	4,712	4,441
その他	3,306	3,440
無形固定資産合計	8,018	7,882
投資その他の資産		
投資有価証券	65,518	57,988
その他	22,324	22,150
貸倒引当金	△387	△391
投資その他の資産合計	87,454	79,747
固定資産合計	116,639	110,056
資産合計	190,804	187,984
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,889	23,212
短期借入金	18,976	19,962
1年内返済予定の長期借入金	4,320	4,068
未払法人税等	1,656	1,088
賞与引当金	1,470	2,183
ポイント引当金	394	410
株主優待引当金	22	15
返品調整引当金	607	750
資産除去債務	69	70
その他	10,907	11,426
流動負債合計	60,313	63,187
固定負債		
社債	74	64
長期借入金	2,485	2,152
退職給付引当金	1,618	1,628
役員退職慰労引当金	896	878
資産除去債務	2,262	2,368
その他	3,897	3,427
固定負債合計	11,235	10,519
負債合計	71,548	73,707

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	70,956	70,956
利益剰余金	28,779	26,749
自己株式	△1	△1
株主資本合計	114,734	112,704
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,361	△2,046
繰延ヘッジ損益	5	△14
為替換算調整勘定	△200	△25
その他の包括利益累計額合計	1,166	△2,086
新株予約権	291	332
少数株主持分	3,063	3,327
純資産合計	119,255	114,277
負債純資産合計	190,804	187,984



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
売上高	47,529
売上原価	21,602
売上総利益	25,926
販売費及び一般管理費	24,477
営業利益	1,449
営業外収益	
受取利息	168
受取配当金	31
その他	159
営業外収益合計	359
営業外費用	
支払利息	62
店舗等除却損	14
為替差損	0
投資有価証券評価損	555
デリバティブ評価損	205
その他	77
営業外費用合計	914
経常利益	893
特別利益	
固定資産売却益	314
投資有価証券売却益	34
その他	12
特別利益合計	361
特別損失	
固定資産除却損	5
減損損失	29
投資有価証券評価損	655
その他	35
特別損失合計	725
税金等調整前四半期純利益	530
法人税、住民税及び事業税	936
法人税等調整額	△635
法人税等合計	301
少数株主損益調整前四半期純利益	228
少数株主利益	232
四半期純損失(△)	△3

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	
少数株主損益調整前四半期純利益	228
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△3,409
繰延ヘッジ損益	△20
為替換算調整勘定	203
持分法適用会社に対する持分相当額	6
その他の包括利益合計	△3,220
四半期包括利益	△2,991
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,256
少数株主に係る四半期包括利益	264

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日）

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	東京スタイル グループ	サンエー・イ ンターナシヨ ナルグループ	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,522	27,006	47,529	—	47,529
セグメント間の 内部売上高又は振替高	5	20	26	△26	—
計	20,528	27,027	47,555	△26	47,529
セグメント利益	21	1,506	1,528	△78	1,449

(注) 1 「調整額」の区分は、主に事業セグメントに帰属しない当社（純粋持株会社）であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「東京スタイルグループ」セグメントにおいて、閉鎖の意思決定をしたブランドに係る店舗等について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において29百万円であります。

また、「サンエー・インターナショナルグループ」セグメントにおいて、退店の意思決定をした店舗及び営業損益が継続してマイナスである店舗について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を店舗等除却損に含めて営業外費用に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において10百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。